



R | 日本事務局 財団室 NEWS

INDEX

- 田中作次RI会長のごあいさつ
- ロータリー世界平和フォーラム広島
- 新補助金制度(未来の夢) ●寄付と認証
- ポリオ・プラス ●ロータリー平和フェロシップ
- 教育的・人道的プログラム
- 財団地域セミナーでの質疑応答(新補助金制度)
- 恒久基金日本委員会 目標と担当地区
- ロータリー財団 地区別月次寄付報告

2012年 7月号



田中作次RI会長のごあいさつ



日本の皆様こんにちは！新年度が始まりました。

私も自分の会長年度、皆様と共有する国際ロータリーの使命を果たすため全力で役割を務めさせていただきます。

私は今年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」と掲げました。私は「平和」は、私達一人ひとりの日々の実践から生まれると信じております。家族、隣人に対して感謝・尊重・寛容な気持ちを持ち、どんな些細なことでも人の助けとなるのが平和に繋がります。この新しいロータリー年度が皆様にとって良き年になるよう心よりご祈念申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

ロータリー世界平和フォーラム広島

田中作次RI会長年度に、ベルリン、ホノルル、広島の世界3都市でロータリー世界平和フォーラムが開催されます。広島では「Peace Begins with You(平和はあなたから始まる)」をテーマに、特に新世代に焦点を当て、平和への日常的な意識と行動に種火を点火し、次の時代に行動を引き継いでいく出発点とすることを目指します。



開催日 2013年5月17日(金)18日(土)

※国内登録は地区毎にまとめて頂くようガバナーをお願いしています。ウェブサイトの内容は、これから開催までの間、随時更新されていく予定です。

<http://www.info-hiroshima.co.jp/peace/pgm.html>

新補助金制度(未来の夢)

【地区の参加資格認定】

いよいよ10月から地区の参加資格認定手続きが始まります。2013-14年度ガバナー、2014-15年度ガバナー、2013-14年度財団委員長が手続きをします。そのため、2014-15年度ガバナーが未定の地区は手続きを完了することができず、決まるまで参加資格認定が得られませんのでご留意下さい。

また、2013-14年度の財団委員長任命書式に、2014-15年度のガバナーの署名がなかった地区は、決まり次第、署名をした書式を再送して下さるようお願い致します。(2013-14年度ガバナーが署名した同じ書式でなくても構いません)。2013-14年度の財団委員長任命書式の締切は7月1日でした。まだ提出していない地区は至急、ご提出下さい。

任命書式は、[こちら](#)をクリックし、財団室 長瀬 takahisa.nagabuchi@rotary.org までお送り下さい。

<未提出の地区>

2540, 2570, 2720, 2800

※行き違いの際はご容赦下さい。

【国際協議会—新補助金制度研修】

2013年1月、ガバナー・エレクトは国際協議会最終日の18日(金)、2013-14年度地区財団委員長は18日(金)と19日(土)の二日間、サンディエゴで新補助金制度の研修に参加します。旅行の手配はRITS指定業者である東日観光を通じて行ないます。滞在中の宿泊費、渡航費(エコノミークラス)、食費等は財団が負担することになっています。詳細につきましては、エバンストン本部担当者より直接皆様にご案内申し上げます。今しばらくお待ち下さい。

パイロット地区の経験

<奨学金について>

第2580地区補助金委員長 津野正則



2010-11年度は日本からのグローバル補助金奨学生第1号として、川端雪乃さんを第7630地区にあるジョージタウン大学大学院に派遣し、平和と紛争解決学を専攻していただいています。川端さんのホスト・クラブ並びにカウンセラーとして、東京RCの双子クラブであるワシントンRCとその会員にお願いしています。

2011-12年度は、地区として、全ての財団補助金を震災復興プロジェクト支援に利用することを決定し、グローバル補助金奨学生の募集を中止しました。

2012-13年度はグローバル補助金奨学生候補2名を4月末に決定し、留学先のロンドン大学とボストン大学のある地区(第1130地区と第7930地区)並びにクラブ(ロンドンRCとボストンRC)に5月にメールでホスト・クラブ受諾とカウンセラー推薦をお願いしました。しかしながら、ロンドン大学のある1130地区からは2012-13年度グローバル補助金奨学生受入枠は一杯になっているとの連絡を受け、また、2012年1月には彼らと連絡を取っておくべきだったとも指摘されました。7930地区も同様ようです。結果として、2名のグローバル補助金奨学生候補は留学を1年延期することを検討しています。

2580地区としては2013-14年度グローバル補助金奨学生の募集プロセスを半年早め、2012年中に該当する奨学生候補の留学先の地区並びにクラブとの連絡を取り、2013年1月のオンライン申請に備える予定です。(注)財団地域セミナーでの奨学金の質問に対して、発表して下さった内容です。

【新制度導入に向けてのリソース】

「未来の夢計画の [リソース](#)」

「未来の夢ニュースレター」の定期受信申し込みは、[こちら](#) から

「[未来の夢への移行について\(地区用\)](#)」、「[未来の夢への移行について\(クラブ用\)](#)」

「[重点分野の目的と目標](#)」

「[奨学金制度の比較](#)」

問合せ先: 清水 yuki.shimizu@rotary.org

寄付と認証

【ポール・ハリス・フェロー認証状フォルダーの変更について】

8月以降、ポール・ハリス・フェローの認証状のフォルダーが従来のパッド入りのものから、紙製のものになる予定です。これは経費節減のためで、ロータリー全体では年間125,000ドルもの経費が節約される見込みで、その分、財団の人的、教育的活動にあてられます。なお、2012-13年度中は認証者が希望すれば無料で従来のフォルダーを注文することもできますが、詳細は決まり次第、ご案内いたします。

【日本のアーチ C. クランフ・ソサエティ新会員】

田中RI会長年度が始まり、多くの大口寄付が寄せられています。7月5日には日本から15人目となるアーチ C. クランフ・ソサエティ新会員が誕生しました。アーチ C. クランフ・ソサエティとは、寄付の合計が25万ドル以上となった寄付者に贈られる認証です。

【冠名基金の推進】

恒久基金へ2万5千ドル以上寄付をすると、冠名基金を設立することができます。冠名基金とは、ご自身の名前の付いた基金(例えば「山田太郎冠名基金」)を設立し、その収益で永続的にロータリー財団のプログラムを支援するもの

です。寄付の用途も金額によって、シェアや国際財団活動資金、ロータリー平和センター、グローバル補助金等から選択することができます。詳しくは松尾 tamami.matsuo@rotary.org までお問合せ下さい。

【自動定期寄付】

ロータリー財団のオンライン寄付システムでは、1 回のみのご寄付以外に、[自動定期寄付](#) をお受けしております。定期寄付の場合、毎月・四半期ごと・毎年のいずれかの周期、および金額をお選びいただけます。定期寄付の場合も、日本円の寄付を選択すれば、税制優遇を受けることができます。クレジットカードは、ロータリー・カードを使用すると、寄付額の 0.3% がロイヤリティとなり 2012 年 12 月 31 日まで東日本震災復興に使用されます。

【領収証の送付】

ロータリー日本財団に 1 月から 6 月にご寄付をいただいた個人の方の確定申告用の領収証は 7 月末頃にクラブ宛に送付予定です。再発行できませんので、大切に保管してください。

【ポール・ハリス・ソサエティ(地区の認証)】

2011 年 1 月 1 日からポール・ハリス・ソサエティは各地区での管理になりました。ポール・ハリス・ソサエティは毎年、年次基金が用途指定寄付で 1000 ドル以上寄付をする誓約をした人がメンバーになります。ぜひ各地区でも推進して下さるようお願いいたします。新規メンバーのためのポール・ハリス・ソサエティの襟ピンが必要な場合は第 3 ゾーン RRFC の松本茂太郎様にメール(s-matsumoto@fukuyama-gas.co.jp)で詳細をお知らせ下さい。地区でポール・ハリス・ソサエティを推進される場合、パンフレット(資料番号 099 無料)がありますので、ご注文ください。また 2010 年 12 月までの地区のリストや申込書のサンプルも日本事務局からご提供できますので、ご利用下さい。

【RILEート】

7 月 \$1 = ¥80

8 月 \$1 = ¥80

[寄付送金明細書\(ロータリアン/ロータリー・クラブ用\)](#)

[送金明細書記入方法・寄付の種類と認証について](#)

寄付振込先: 三井住友銀行 赤羽支店(226) 普通預金 3978101 名義: 公益財団法人ロータリー日本財団

送金明細書送付先: kifu@rotary.org

【クラブ認証】



ロータリー財団では寄付に応じて 100% 財団の友クラブ、EREY クラブ、年次基金一人当たり上位 3 クラブなどの認証がクラブに贈られます。2011-12 年度の認証の対象クラブのパナーは秋ごろに各地区に送付される予定です。

【寄付と認証に関するリソース】

- ・ [会員アクセス\(MAP\)](#)rotary.org にある会員のための情報のページ。会員データの更新のほか、個人の寄付記録、役職により在職期間中は MCR, CRS, EREY 報告書などを閲覧できます。
- ・ [月次寄付報告\(MCR\)を活用する](#)その年度の各クラブの寄付額を確認
- ・ [クラブ寄付認証概要\(CRS\)を活用する](#)個人のPHF累計など認証を確認
- ・ [EREY 報告書を活用する](#)100%財団の友クラブ、EREY クラブ、ポール・ハリス・ソサエティの寄付を確認
- ・ [認証ポイントについて](#)
- ・ [認証ポイント使用申請書](#)

問合せ先: 大口寄付・冠名基金:松尾 tamami.matsuo@rotary.org 寄付と認証:長瀬 takahisa.nagabuchi@rotary.org

ポリオ・プラス

【ポリオ撲滅コーディネーター】



ゾーン END POLIO NOW コーディネーターの翻訳が「ポリオ撲滅コーディネーター」となりました。

2012-13 年度 ポリオ撲滅コーディネーター

ゾーン	名前	E-mail	地区
第1ゾーン	白鳥 政孝	siratori@io.ocn.ne.jp	2790
第2ゾーン	金杉 誠	Makoto.Kanasugi@ysl.co.jp	2590
第3ゾーン	延原 正	tnobuhara@lime.ocn.ne.jp	2690

【ポリオ症例数】 2012年7月18日現在のポリオ症例数です。

	2012年1月1日～7月18日	2011年1月1日～12月31日
アフガニスタン	13	80
パキスタン	23	198
ナイジェリア	55	62
インド	-	1
ポリオ常在国以外	5	309
世界合計	96	650

* 現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3か国です。

ロータリー平和フェローシップ

「平和及び紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター」プログラムは、ロータリー平和センターといわれるロータリーと提携した大学で、修士号または修了証プログラムに参加するための奨学金で、仕事や奉仕活動を通じて国内外で平和及び紛争解決を推進するリーダーとなる人材を育成することを目標としています。各ロータリー平和センターについては、[こちら](#)をご覧ください。

2002年プログラム開始以来、600人以上のフェローがこのプログラムに参加し、学友の多くが、平和と紛争の解決の分野で活躍しています。この秋から第11期生として、日本から3名の新しいフェローが、このプログラムに参加します。第2710地区推薦の新屋由美子さんはイギリスのブラッドフォード大学、第2550地区推薦の大阿久裕子さんと第2790地区推薦の宇野かおりさんは、日本の国際基督教大学で学びます。

12期生(2013-14年度留学開始)の募集はこの7月1日で締め切られました。初年の日本からの推薦は11名でしたが、今回の推薦は3名のみでした。すべての地区はDDFの寄贈の有無と関係なく、何人でも候補者を推薦できます。候補者は必ずしも地区内に居住している必要はなく、電話やインターネットを利用した面接も可能です。2014年の申請書は11～1月頃にWEBに掲載される予定です。多くの地区からのご推薦をお待ちしております。

グローバル補助金を利用した奨学生は、ロータリー平和センターの平和に関する修士号のコースを選択することは出来ません。もし、ロータリー平和センターとなっている大学での関連分野での留学を考えている候補者の方がいらっしゃいましたら、ロータリー平和フェローシップに応募していただくよう



にご案内下さい。

【国際基督教大学 (ICU)】

東京三鷹にある国際基督教大学(ICU)は、世界に6つあるロータリー平和センターの一つです。毎年およそ10名のフェローが22ヶ月間、平和と紛争解決の分野について学んでいます。ICUの所在地である2750地区がホスト地区として、周辺の2580地区、2590地区、2770地区、2780地区、2790地区がホスト・エリアとして協力してフェローの受入を行っています。

2012年9月からは第11期生として日本から推薦された2名を含む13名のフェローが新たに研究を開始します。海外からのフェローは学期開始に先立ち1~2ヶ月の日本語研修に参加します。第2750地区のパスト・ガバナー久邇邦昭様がホスト・エリア・コーディネーター(HAC)として、フェローとロータリアン、ICUとの連絡や調整などにあたります。

News! 6月にICUを卒業したマーク・フランガンさんが第28回佐藤栄作賞の最優秀賞に選ばれました。[→関連記事](#)

【ロータリー平和センター大口寄付推進計画】

ロータリー平和フェローシップ・プログラムは、皆様からのロータリー平和センターへの寄付や地区からのDDFの寄贈などによって支えられています。ロータリー財団は、ロータリー平和フェローシップ・プログラムを教育的分野での最優先事項と指定し、2015年6月30日までに恒久基金と使途指定寄付で合計9,500万ドルの寄付を集めることを目標としています。

ロータリー平和センター支援の寄付は、ロータリー平和センター大口寄付推進委員会が中心となって推進しています。日本からは第2770地区津田健三パスト・ガバナーが委員として任命され、ロータリー平和センターの資金の確保に積極的に尽力し、ご自身も冠名ロータリー平和フェローシップ基金を設立しています。

ロータリー平和フェローシップ・プログラムに関するお問合せ: 山本 ritsuko.yamamoto@rotary.org

ロータリー平和センター大口寄付推進に関するお問合せ: 松尾 tamami.matsuo@rotary.org

教育的・人道的プログラム(2012-13年度まで)

【国際親善奨学金】

2012-13 年度派遣の国際親善奨学生で入学許可書を得られなかった方や語学試験をクリアしていない方、出発前の書類を提出していない方はお急ぎ下さい。

NEW! ベルリッツのロータリーテストは、2012 年 12 月で廃止となります。

【研究グループ交換(GSE)】

日程や出発前の必要書類は[会員アクセス](#)の「GSE ワークグループ」にあります。アクセスできるのは、ガバナー、ガバナー・エレクト、GSE 委員長です。書類は出発の2ヶ月前までに提出します。

奨学金、GSEに関するお問合せ: 山本 ritsuko.yamamoto@rotary.org

【マッチング・グラント(MG)】

新年度が始まりました。申請受付期間は 2012 年 7 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日迄です。25,000 ドルを超える申請は、10 月の会合にて管理委員会により審査され、申請書提出の締め切りは 8 月 1 日です。

問合せ先: 伊関 yoshinori.iseki@rotary.org

【地区補助金(DSG)】

2012-13年度地区補助金の支払は、前年度の50%以上の報告が受理された後となります。申請額が25,001ドル以上の場合、Spending Plan(使用計画)とPublicity Plan(広報計画)も提出します。所定の用紙はありませんがサンプルが必要な地区はお知らせ下さい。

計画されたプロジェクトに地区補助金を利用できるかどうかは、[地区補助金の授与と受諾の条件](#)と地区の方針次第です。申請されたプロジェクトが適格かどうか、地区で判断に迷う場合には、日本事務局までご相談下さい。

地区補助金に関するお問合せ: 山本 ritsuko.yamamoto@rotary.org

新補助金制度への移行

マッチング・グラント・地区補助金(DSG)・国際親善奨学金・研究グループ交換などのプログラムは、2012-13年度で終了します。2013-14年度からはグローバル補助金または新地区補助金(DG)を利用して奨学生の派遣や人道的プロジェクトを実施できます。ロータリー平和フェローシップは2013-14年度以降も継続します。

財団地域セミナーでの質疑応答（新補助金制度）

7月2日の財団地域セミナーでは、時間の関係でお答えできなかった質問がありました。ご質問の一部をご紹介します。なお、試験期間中のため、変更になる可能性がありますのでご了承下さい。

- Q. ロータリアンの子息女はGSE(研究グループ交換)参加を認められていません。会員数が減少する中、子息女が将来会員になる確率は確実に大きくなります。新補助金制度では地区裁量でVTT(職業研修チーム)に参加させていいですか。
- A. 残念ながら、ロータリアンおよびその配偶者、直系卑属(子、孫とその配偶者)、尊属(両親、祖父母)は受益者にはなれません。ロータリーの奉仕は、自己の利益ではなく、他人のために考えることにあります。参加できるとすれば、研修を提供する専門家として奉仕することができる場合のみです。
- Q. 財団の手続きですが、いつまでに、誰が、誰に、何をするのかのマニュアルはありますか。
- A. 新補助金制度については、「[未来の夢への移行について\(地区用\)](#)」、「[未来の夢への移行について\(クラブ用\)](#)」をご活用下さい。移行期間のため今年度は更新されておりませんが、「[申請手続き早見用手引き](#)」も便利にご利用いただけます。
- Q. 「地区財団資金管理小委員会」と「地区監査委員会」の違いを教えてください。
- A. 「地区財団資金管理小委員会」は、地区財団委員会が設けなければならない4つの小委員会のひとつです。財団の補助金の適切な使用や、MOU(覚書)が守られるよう、ロータリアンに情報や助言を与えます。そのため、監査や会計の専門家、あるいは、財団の補助金に精通している方が望ましいです。
地区は、「地区監査委員会」か「公認会計士」のいずれかを選択し、MOUが守られているかを確認し、年次財務評価を行います。「地区監査委員会」を設ける場合、少なくとも3名の委員から構成され、少なくとも1名は元ガバナーもしくは監査の経験を有する必要があります。「公認会計士」の場合、地区内のロータリアンは利害の対立にあたるため認められません。詳細は財団委員会の手引きに掲載される予定です(9月更新予定)。[手続要覧](#)P231RI細則15.060.4もご参照下さい。
- Q. 新補助金制度が始まると、使わなかったDDFがなくなるというのは本当ですか。
- A. いいえ、なくならずに翌年に繰り越されます。新地区補助金には使えませんが、グローバル補助金や寄贈など、新地区補助金以外に使用することができます。
- Q. 新地区補助金で申請額の20%まで臨時費として申請できるそうですが、どのような使い方ができますか。
- A. 臨時費は、例えば、計画時に予測できない災害復興支援事業などに使用することができます。既に資金は地区の口座にあるため、担当コーディネーターの承認を得るだけで迅速に事業を実施できます。
- Q. グローバル補助金の承認事例と不承認事例を教えてください。
- A. 日本では承認されなかったプロジェクトは13件ありました。うち半分は、計画が途中で変更になったなどの理由で申請を撤回したものです。残る半分は、重点分野との直接的な関連が認められない、あるいは持続の可能性が十分ではないことによるものでした。世界的に承認されなかったものには、単に備品や機器を寄贈するだけのプロジェクト、文化的なGSE(研究グループ交換)が多かったようです。重点分野の方針については、「[重点分野の目的と目標](#)」という資料が新たにでき、適格性についての判断がかなりのところまでできるようになりました。承認されたプロジェクトについては、財団室NEWS 5月号をご覧ください。
- Q. 奨学金は、これからの若者の留学というよりは、重点6分野で活躍しているプロフェッショナルへの支援に変化してきているように思われます。これからの若者への留学の門戸を広げるというような支援はされない方向ですか？
- A. 重点分野は6つに絞られています。6つの重点分野を勉強するこれからの若者の支援もできます。また、新地区補助金では重点分野にかかわらず国内外の奨学生を柔軟に支援できます。
- Q. 奨学生を募集する際に国際親善奨学金という呼称は使えるでしょうか。
- A. 国際親善奨学金プログラムとの混同を避けるために使えなくなります。グローバル補助金奨学生は、ロータリー奨学生と呼ばれます。新地区補助金による奨学生の呼称は各地区に任せられますが、例えば地区やクラブ名をいれて「ロータリー第1234地区奨学生」という呼び方が推奨されています。同様にGSEという名称も使用できなくなります。
- Q. 国際親善奨学金では奨学生の受験先を財団本部で振り分けていたが、新制度では振り分け機能がないため有名校へ集中し、結果的に受入地区から断られるケースもあると聞きます。実情と対策がありましたら教えてください。
- A. P.2の「パイロット地区の経験」をご覧ください。

2012-13年度 恒久基金日本委員会 目標と担当地区

2012-13年度第一回恒久基金日本委員会が7月1日に開催され、2012-13年度寄付増進目標と各委員の担当地区を下記のとおり決定しました。

恒久基金日本委員会 2012-13年度目標

目標項目	地区当り目標
恒久基金寄付額	10ドル/人
ロータリー平和センター 支援額(恒久基金)	(DDF 寄贈) 1万~10万ドル/地区
大口寄付者	2~5名/地区
遺贈友の会	1名/地区
ベネファクター	1名/クラブ (50名以上の規模のクラブは2名/クラブ)
冠名基金*	2~5名/地区
大口寄付**	1~3件/地区
慈善年金	1名/地区

(幅を持たせている目標に関しては、地区の規模によって目標を設定)

* 恒久基金への寄付額が2万5千ドルに達すると「冠名基金」を設立できます。

** 「大口寄付」とは、一度の寄付が1万ドル以上の寄付を指します。

2012-13年度 恒久基金日本委員会担当地区

役職	名前	地区	担当地区	Email
恒久基金日本委員会 連絡担当管理委員	小沢 一彦	2780		ozawa07-09rid@rid2780.gr.jp
アドバイザー	南園 義一	2710		yoshimm@oregano.ocn.ne.jp
委員長	黒田 正宏	2830	2510, 2520, 2540, 2830	mskuroda@vc.hi-net.ne.jp
副委員長	津田 健三	2770	2530, 2550, 2570, 2770, 2800	tsuda@tsudaustrial.co.jp
委員	藤林 豊明	2590	2580, 2590, 2750, 2780	fujibayashi2590@yahoo.co.jp
	竹腰 兼壽	2630	2610, 2620, 2630	k_takekoshi@sansyou.co.jp
	福井 正典	2650	2640, 2650, 2660, 2680	fukufumi@gold.ocn.ne.jp
	延原 正	2690	2670, 2690, 2710	tnobuhara@lime.ocn.ne.jp
	杉谷 卓紀	2720	2700, 2720, 2730, 2740	rotary2720sugitani@clear.ocn.ne.jp
	野村 重彦	2760	2600, 2760	s-nom8020@katch.ne.jp
北 清治	2770	2500, 2560, 2790, 2820, 2840	kita@shinken-net.co.jp	

国際ロータリー日本事務局 財団室
〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階
Tel. 03-3903-3192 Fax. 03-3903-3781

ロータリー財団 2011-12年度 6月末(12ヵ月間) 地区別寄付報告 - 暫定

(単位:米ドル)

地区	会員数	地区目標	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオ・プラス	その他 使途指定寄付	恒久基金	合計寄付額	年次基金 同時期 前年度比	ポリオ・プラスと その他 使途指定寄付 同時期 前年度比	恒久基金 同時期 前年度比	合計 同時期前年度 比
2500	2,202	237,204	91.25	200,940.12	13,097.14	15,960.33	17,219.51	247,217.10	110%	51%	150%	99%
2510	2,572	239,898	118.58	304,997.00	28,713.34	16,441.73	4,000.00	354,152.07	96%	67%	124%	92%
2520	2,176	0	79.25	172,441.18	27,999.14	48,442.25	9,193.87	258,076.44	146%	108%	230%	134%
2530	2,242	198,458	96.70	216,797.67	14,001.10	63,640.81	56,891.25	351,330.83	88%	711%	173%	122%
2540	971	59,860	103.06	100,068.54	17,123.16	7,912.00	0.00	125,103.70	134%	111%	0%	126%
2550	1,694	216,725	138.37	234,404.09	10,156.30	11,222.59	18,051.28	273,834.26	96%	105%	124%	98%
2560	2,006	211,350	137.00	274,822.07	3,599.71	11,069.47	1,365.85	290,857.10	97%	15%	34%	76%
2570	1,731	184,645	137.32	237,700.58	44,829.38	27,565.91	41,672.66	351,768.53	115%	99%	101%	109%
2580	3,079	306,170	109.40	336,840.12	45,320.75	25,961.26	27,115.38	435,237.51	90%	36%	73%	72%
2590	2,277	281,740	171.43	390,345.54	51,454.69	140,301.74	127,680.00	709,781.97	95%	83%	107%	93%
2600	2,055	201,946	117.26	240,979.40	38,858.73	36,143.99	4,250.00	320,232.12	104%	105%	43%	102%
2610	2,609	269,928	108.87	284,044.84	1,258.65	42,652.03	12,600.00	340,555.52	106%	52%	121%	94%
2620	3,017	304,800	103.66	312,742.93	68,618.88	46,902.28	48,125.64	476,389.73	93%	142%	104%	103%
2630	3,147	295,060	98.18	308,985.53	26,634.87	5,624.81	38,552.58	379,797.79	79%	53%	66%	75%
2640	2,113	317,420	133.34	281,736.89	18,274.66	56,607.12	33,628.20	390,246.87	73%	142%	125%	83%
2650	4,612	732,460	184.14	849,240.63	91,783.53	20,694.41	175,425.00	1,137,143.57	97%	77%	150%	100%
2660	3,645	534,041	175.41	639,377.98	65,892.49	178,280.95	106,766.64	990,318.06	89%	65%	160%	85%
2670	2,943	168,390	112.39	330,771.26	75,335.25	25,876.32	10,047.50	442,030.33	104%	103%	251%	105%
2680	2,945	300,897	121.38	357,476.95	91,372.80	458,268.42	6,500.00	913,618.17	95%	198%	92%	139%
2690	3,024	475,480	168.68	510,102.97	22,928.08	478,249.84	63,000.00	1,074,280.89	106%	1118%	110%	184%
2700	3,113	272,291	85.63	266,571.48	57,115.12	67,834.08	1,000.00	392,520.68	104%	100%	172%	103%
2710	3,244	393,840	125.07	405,727.17	77,064.28	53,952.02	299,217.82	835,961.29	100%	145%	319%	141%
2720	2,391	183,326	94.00	224,742.86	36,838.45	23,299.28	2,141.03	287,021.62	91%	139%	55%	98%
2730	2,280	230,210	113.65	259,113.41	49,261.66	3,650.78	28,490.00	340,515.85	97%	59%	166%	91%
2740	2,196	213,415	83.41	183,157.74	31,035.47	17,300.00	10,000.00	241,493.21	98%	108%	77%	99%
2750	4,518	423,680	124.13	560,804.21	112,749.29	26,330.05	123,633.29	823,516.84	101%	80%	156%	102%
2760	4,809	496,145	138.41	665,608.93	52,334.63	254,072.21	56,285.29	1,028,301.06	95%	200%	124%	114%
2770	2,508	513,800	195.17	489,489.97	137,702.50	52,137.05	297,101.75	976,431.27	96%	107%	158%	112%
2780	2,203	357,570	185.81	409,346.38	41,255.67	732,496.03	123,164.09	1,306,262.17	105%	971%	317%	257%
2790	2,701	20,330	130.59	352,734.70	34,339.41	47,237.57	40,001.56	474,313.24	108%	173%	147%	118%
2800	1,637	158,210	96.82	158,486.60	7,384.15	3,001.73	10,592.31	179,464.79	101%	64%	211%	101%
2820	2,027	241,310	134.20	272,024.05	97,617.71	68,318.52	68,083.97	506,044.25	102%	139%	129%	116%
2830	1,039	99,515	125.89	130,802.36	20,196.39	36,981.06	9,250.00	197,229.81	100%	276%	219%	126%
2840	1,902	197,900	141.28	268,718.70	35,223.00	29,599.75	6,872.03	340,413.48	115%	202%	124%	125%
日本	87,628	9,338,014	128.18	11,232,144.85	1,547,370.38	3,134,028.39	1,877,918.50	17,791,462.12	98%	140%	151%	111%
全世界	1,194,899	61,632,946	92.62	110,672,805.76	34,804,802.21	18,603,043.85	15,883,272.06	179,963,923.88	104%	93%	115%	101%
日本の割合	7.33%	15.15%	138.39%	10.15%	4.45%	16.85%	11.82%	9.89%				